



2025年 5 月 9 日

各位

会社名 住友金属鉱山株式会社
 代表者名 代表取締役社長 松本 伸弘
 (コード番号 5713 東証プライム)
 問合せ先 広報 I R 部 I R グループ長 井上 敦行
 (T E L. 03-3436-7705)

通期連結業績予想値と実績値との差異、減損損失の計上及び
 役員報酬の返上に関するお知らせ

当社は2025年 3 月期第 4 四半期連結会計期間において、減損損失を計上いたしました。これに伴い、2025年 3 月期の通期連結業績について、2025年 2 月12日に公表しました通期連結業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、役員報酬の返上について、あわせてお知らせいたします。

記

1. 2025年 3 月期通期連結業績予想値と実績値の差異について

(1) 2025年 3 月期通期連結業績 (2024年 4 月 1 日～2025年 3 月31日)

(単位：百万円、円/銭)

	売上高	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的 1 株当たり 当期利益
前回発表予想 (A)	1,573,000	58,000	25,000	31,000	112.79
実績値 (B)	1,593,348	31,383	11,777	16,487	59.99
増減額 (B－A)	20,348	△26,617	△13,223	△14,513	
増減率 (%)	1.3	△45.9	△52.9	△46.8	
(ご参考)前期実績 (2024年 3 月期)	1,445,388	95,795	60,803	58,601	213.28

(2) 差異の理由

2025年 3 月期通期連結業績につきましては、前回発表予想に比べ金価格の上昇等による好転要因があったものの、為替は円高基調で推移し、また当第 4 四半期連結会計期間に減損損失を計上したことにより、前回予想に比べ減益となりました。

なお、減損損失の内容については、「2. 減損損失の計上について」に記載のとおりです。

2. 減損損失の計上について

材料セグメントの電池材料事業において、将来予定されている製品の品種切替えに伴う生産能力の低下が見込まれ、減損の兆候の有無を検討した結果、減損テストを実施しました。その結果、当該事業に関連する有形固定資産などの帳簿価額76,602百万円を回収可能価額まで減額することとなり、2025年 3 月期第 4 四半期連結会計期間に、当該事業に関連する当社及び一部の連結子会社の有形固定資産などについて57,286百万円の減損損失を計上しました。

3. 配当予想について

通期連結業績予想値と実績値に差異が生じましたが、2025年 3 月期の年間配当予想については、2025年 2 月12日に公表した 1 株当たり104円 (中間配当49円、期末配当55円) の予想から変更はありません。

4. 役員報酬の返上について

2025年3月期第3四半期連結会計期間の製錬セグメントにおける減損損失及び「2. 減損損失の計上について」に記載の2025年3月期第4四半期連結会計期間の電池材料事業における減損損失の計上を受け、関係する役員より報酬の自主返上の申し出があり、これを受け入れることといたしました。

(1) 役員報酬の返上内容

代表取締役会長		月額報酬の20%自主返上
代表取締役社長		月額報酬の20%自主返上
常務執行役員	2名	月額報酬の20%自主返上
執行役員	5名	月額報酬の10%～20%自主返上

(2) 対象期間

2025年5月から6月までの2カ月間

以上